

# 3次元ものづくりとは

秋田職能  
短大

## 市民に公開講座



### 3次元ものづくりについて学んだ公開講座 (秋田職能短大)

大館市の秋田職業能力開発

短期大学校(後藤康孝校長)

は3日、同校で公開市民講座

を開いた。市民ら11人が参加

してCAD(コンピューター

設計支援)を用いた3次元も

のづくりや図面作成を体験

し、専門的知識を学んだ。

同校主催、市生涯学習推進

本部、市教育委員会が共催。

地域住民に大学を身近に感じ

てもらおうと毎年開催してい

る。5、7日も含めた3日間、

教授、講師陣がそれぞれテー

マを変えた講義を行う。

初日は、生産技術科の村上

佑太講師が「3次元CADを

用いたバーチャルものづく

り」と題した講話を行った。

CADについては「手書き

で行っていた作業をコンピュ

ーターを導入することで、効

率よく図面作成ができるよう

にしたもの」と分かりやすく

解説。図面のぼらつきがない

ことや、内容の修正が簡単な

ど利点を挙げた。住宅設備や

土木、測量といった幅広い分

野で利用されているとし「自

動車や船舶設計で3次元CA

Dが主流。県内でも技術者の

需要が増している」と話し

た。

受講者は、村上講師の指導

を受けながらCADで図面を

作成。真剣な表情でスケッチ

を描き、図面を立体化する作

業を行った。